

大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

<記載項目>

1. 平成 29 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 平成 29 年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

1. 平成 29 年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布保健部圏域介護予防検討会
平成 29 年 12 月 21 日（木） OT 佐藤（友）
2. 由布地域包括ケア推進協議会
センター長、事務部長、ST 木村、OT 佐藤（友）、PT 西ノ園（龍）、MSW 割石 出席者 6 名
3. 由布地域包括ケア推進協議会研修会
「在宅で気をつける薬剤管理」
平成 29 年 7 月 14 日（金） 講師：薬剤師長谷川
4. すこやか健康サロン
2 地区 計 11 回実施 講師派遣延べ 15 名
5. 由布市 健康応援団派遣事業
32 地区 計 42 回 講師派遣延べ 48 名
6. 竹田地域包括ケアシステム研修会
平成 29 年 12 月 14 日（木） OT 佐藤（友）
7. 由布市サービス事業所研修会
平成 28 年度専門職派遣事業実践報告会
日時：平成 29 年 9 月 7 日（水） 報告者：PT 佐藤（周）、OT 大田（繁）
8. 由布市ヘルスアップリーダー養成講座
9/20（水）、10/ 4（水）、11/14（火）講座回数 計 6 回（終了試験含む）
講師：延べ 6 名
9. 大分県地域リハビリテーション研究会運営部会 19：30～大分市井野辺病院
6/27（火）、8/22（火）、10/ 2（月）、12/11（月）、平成 30. 3/12（月）
（神田、會川、西ノ園（龍））
10. 第 19 回福祉研修会
平成 29 年 11 月 26 日（日） 講師：OT 佐藤（友）
11. 大分県地域リハビリテーション研究会 第 29 回役員会
平成 29 年 6 月 5 日（月） （センター長）
12. 平成 29 年度大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会理事会
平成 29 年 7 月 7 日（金）、平成 30 年 2 月 3 日（土） （センター長）
13. 平成 29 年度大分県リハビリテーション協議会
平成 30 年 2 月 27 日（火） 大分県庁別館 84 会議室 （センター長、會川）
14. 平成 29 年度大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会
平成 30 年 3 月 1 日（木） （センター長）
15. 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会ブロック大会 in 大分
平成 30 年 2 月 23 日（金） 前夜祭 24 日（土） 明日香美容学院
（センター長、神田、會川、日高、佐藤（友）、河野）

2. 平成 29 年度実施事業の詳細

(1) 第 28 回三者会議

日 時：平成 29 年 4 月 24 日（月）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3 階 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤内修二課長、藤本紀代美参事、島川雄司主幹
県高齢者福祉課より一丸淳司参事、高茂大介主幹、阿部幸平主事
広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H28 年度活動報告
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について
県リハセンター並びに広域支援センターの H29 年度活動計画

(2) 第 15 回拡大運営会議

日 時：平成 29 年 5 月 30 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3F 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤内課長、藤本紀代美参事
県高齢者福祉課より佐藤参事、阿部主事
関係団体代表者

主な議題：H28 年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告
H29 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画
県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について
地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告及び提出議題の検討

(3) 第 14 回合同研修会（大分県地域リハビリテーション研究会共催）

日 時：平成 29 年 7 月 9 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

内 容：

1. 報告①「平成 28 年度地域リハビリテーション活動報告と平成 29 年度の事業計画」

報告者：大分県リハビリテーション支援センター運営部 佐藤友美

2. 報告②「平成 29 年度大分県からの事業説明」

報告者：大分県高齢者福祉課 阿部幸平氏

3. 講演「介護保険制度改正から見る施策の方向性

～これからの地域リハビリテーションに期待すること～

講 師：厚生労働省・老健局 課長補佐 石井義恭氏

4. シンポジウム

テーマ「地域ぐるみで地域包括ケアを構築する－事業の立ち上げ、連携、実践の工夫」

シンポジスト：

①白杵市医師会立コスモス病院 副院長 舩友一洋氏

②竹田市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 本田直美氏

③大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 阿部幸平氏
アドバイザー：厚生労働省・老健局 課長補佐 石井義恭氏
参加者数：213名



(4) 第29回三者会議

日 時：平成29年10月17日（火）
場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室
出席者：県健康づくり支援課より藤本参事、島川主幹
 県高齢者福祉課より一丸参事、高茂主幹、阿部主事
 広域支援センター代表者
主な議題：今年度事業の進捗状況報告
 県からの報告・協議事項について

(5) 大分地域リハビリテーション・ケア研究大会（県リハセンター共催）

日 時：平成30年1月21日（日）
場 所：別府ビーコンプラザ 3階 国際会議場
参加数：142名
内 容：テーマ「災害と地域連携」
基調講演：「人生とは～東日本大震災の現場から学ぶ命の尊さ～」
講 師：高橋 英悟（たかはし えいご）氏（曹洞宗 吉祥寺 住職）
司 会：大分県地域リハ研究会 会長 武居光雄
シンポジウム：テーマ「災害と地域連携～九州北部豪雨を経験して～」
シンポジスト：
① 「大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）の発足と活動」
 會川 裕子 大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）
 （大分県リハビリテーション支援センター）
② 「日田市災害支援時の歯科衛生士の活動」
 三ノ宮美紀氏（一社）大分県歯科衛生士会
③ 「地元への引き継ぎを意識した災害時の医療コーディネート」
 池邊 淑子氏 大分県西部保健所 所長

(6) 平成 29 年度地域リハ実践者研修

日 時：平成 29 年 11 月 25 日（土）

場 所：ホルトホール大分 セミナールーム L

テーマ 「連携のプロに学ぶ多職種コミュニケーションのいろは
～地域包括ケアに役立つコミュニケーションスキルの向上～」

内 容：講演「コミュニケーションの Tips」

講 師：鹿島建設株式会社 開発事業本部 公民連携マネジメント部
担当部長 吉田 岳氏

対 象：地域リハビリテーションに関わる多職種

講演で学んだマニュアルにはないコミュニケーションにおける秘訣を活かし、実際にコミュニケーションの疑似体験をする目的でロールプレイを実施。

ロールプレイ：模擬担当者会議をやってみよう！様々な職種になりきることで立場を対体験する

受講者数：27 名

(7) 第 9 回 実務者会議

日 時：平成 29 年 12 月 12 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課より島川主幹

県高齢者福祉課より高茂主幹、阿部主事

広域支援センターの実務者

主な議題：平成 30 年度県の事業計画（案）

県リハセンターの事業（年間計画案・予算案）

広域支援センターの活動計画案・予算案

災害リハビリテーション推進協議会の活動 / 避難所運営ゲーム HUG



机上での運営の様子



クロノロジー体験

会議の後、実習として「避難所運営ゲーム HUG」を実施。県庁職員、広域支援センターの実務者、県リハスタッフが一緒にチームを組んで避難所を運営していく体験をした。次々と訪れるイベントに対し緊迫しながらも徐々にお互いが協力し、チーム力も高まった。次年度の各圏域での研修希望もあり好評であった。

(8) 大分災害リハビリテーション推進協議会の活動

①大分 JRAT 災害リハビリテーション支援（ベーシック）研修会

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土） 13：30～16：45（受付 13 時～）

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

講演 1：「JRAT の概要と災害リハビリテーションの基礎知識」

講 師：日隈 武治氏

大分 JRAT 災害リハコーディネーター / 大分県作業療法協会 副会長

講演 2：「災害リハビリテーション支援と受援をどう実践するか」

講 師：近藤 国嗣氏

JRAT 副代表 / 東京湾岸リハビリテーション病院 院長

実 技：避難所で役立つ防災グッズを作ってみよう！

～チームでの行動力・臨機応変な対応力を磨く～

ロールプレイ：ミッション「避難所へ裸足できた被災者にくつを作る！」

会場に準備した物品を駆使して時間内に作り上げる。終了後、全員で共有各グループで初めて会ったメンバーとのチーム力を競った

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種

受講者：72 名



②大分 JRAT 災害リハビリテーション支援（ロジステック）研修会

日 時：平成 30 年 2 月 17 日（土） 13：30～16：30（受付 13 時～）

場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

講演 1：「平成 28 年熊本地震における熊本 JRAT の受援体制とその心得」

講 師：三宮 克彦 氏

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課 課長

実 技：避難所運営ゲーム HUG 講師の三宮氏もアドバイザーとして参加

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種 受講者：40 名



3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

平成 28 年に設立した大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）は、平成 29 年 5 月に大分県との災害時の協定を結び、県内で災害発生時、知事要請を受けて活動できる体制が整った。その矢先の 7 月に九州北部豪雨災害が発災し、県内で初となる災害リハビリテーション支援活動を実施した。実際の活動を行ったことで、課題が浮き彫りになり、その対策として、大分 JRAT マニュアル委員会を立ち上げ、マニュアル作成を行った。また、様々な研修等での講師依頼や他の災害医療チームとの連携を深める機会を得ることができた。

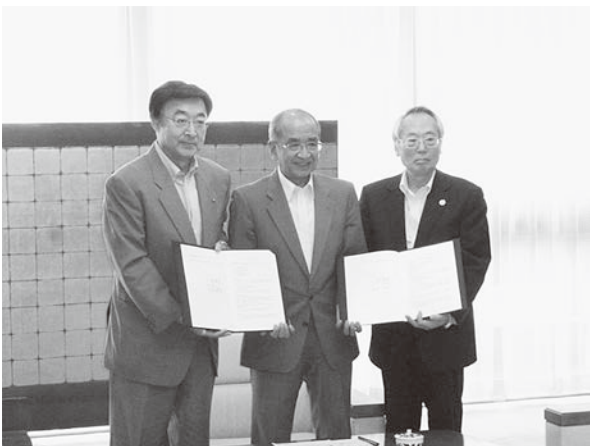
支援活動員の研鑽、災害リハの普及啓発については、災害リハ研修会を 2 回実施した。災害医療の概要に加え、チーム力や課題対応力を磨く実技演習を企画し、リハ関係職種をつなぐ場にもなった。

本項では、平成 29 年度の実績と来年度の事業計画について報告する。

【大分県との災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定締結】

目的：災害時における被災者への医療救護をリハビリテーションの観点から行う

日時：平成 29 年 5 月 29 日（月） 場所：大分県庁



当日は、歯科医師会と共に締結式を取り行った。
これにより、大分県内での災害発災時、リハビリテーションが必要と判断された場合は県知事要請による活動が可能となった。

【日田市での支援活動】

7 月 5 日 九州北部豪雨発災。

避難所が開設され、避難が長期化する恐れありと、大分県より情報があり、待機とする。
道路状況不良で、安全性の確保を優先することと、本部 JRAT からの指示を受ける

7 月 9 日 午前 8 時 50 分 大分県知事より、災害リハ支援活動の要請を受ける

午前 9 時 先遣隊として OT 日隈（大分県作業療法協会）、PT 高橋（大分県理学療法士協会）、OT 大田（湯布院病院）の 3 名が日田市を視察し、状況把握を行う。

* 避難所アセスメント概要 *

医療本部運営状況、指定避難所数、避難者の概算、被害状況、
インフラ（活動する上での安全性）、医療チーム派遣状況等

午後 4 時半 湯布院病院にて対策会議

翌日以降の活動支援員のマッチング、派遣者募集依頼等の事務局作業開始

7月10日～17日 支援活動実施。本部運営は湯布院病院内にてロジスティック2名にて実施。

【派遣実績】

8施設（湯布院病院、大分リハビリテーション病院、井野辺病院、別府リハビリテーションセンター、諏訪の杜病院、一の宮脳神経外科病院、清流荘、デイサービスセンター楽）

職種別内訳：医師2名 作業療法士15名 理学療法士15名 言語聴覚士2名
歯科衛生士1名

派遣累計：のべ57名

活動場所：指定避難所6施設

活動内容：1) 避難所アセスメントと環境調整（福祉用具の調整含む）
2) 要配慮者のアセスメントと対応の検討
3) 生活不活発病、エコノミークラス症候群、熱中症、肺炎予防（口腔ケア）の普及啓発
4) 運動機会の提供（住民ボランティアである健康運動リーダーと連携）

7月18日 下記3点を受け保健所長の判断にて大分JRATは活動終了

- 1) 避難者数の減少
- 2) 要配慮者への対応を保健師に引き継ぎ完了
- 3) 運動機会は健康運動リーダーへの引き継ぎ完了



集団での体操を各避難所にて行うことを企画・実行し、住民ボランティアへ引き継いだ。



慣れない避難所の環境で、安全に過ごすことができるよう、動作の評価とアドバイス等を行った。

【大分JRAT事務局活動】

1. 災害リハコーディネーターとの事務局会議

日時：平成29年4月10日（月） 場所：JCHO 湯布院病院

内容：平成29年度の研修企画 等

2. 大分JRAT緊急世話人会

日時：平成29年7月18日（火） 場所：井野辺病院

内容：九州北部豪雨災害の活動状況の共有 課題の整理

3. 官民連携による災害対策ネットワーク会議への出席

日時：平成29年7月27日（木） 場所：大分県庁

内容：九州北部豪雨での避難者支援についての意見交換

4. 大分 JRAT 世話人会

日時：平成 29 年 9 月 30 日（土） 場所：大分県男女消費生活共同参画プラザ アイネス

平成 30 年 2 月 17 日（土） 場所：大分県男女消費生活共同参画プラザ アイネス

内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

5. 平成 29 年度 JRAT 九州ブロック会議 場所：長崎リハビリテーション病院

日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）

内容：九州各県の組織化及び活動状況の報告、今後の JRAT の方針の共有

6. 大分 JRAT 活動員名簿登録の開始

【大分 JRAT マニュアル作成委員会】

目 的：大分 JRAT における災害リハ支援活動の活動指針と、活動時に使用する共通資料等を作成する

メンバー：18 名（委員長：井野辺純一） 委嘱状交付

会議日時：平成 29 年 12 月 1 日（金） 場所：井野辺病院

平成 30 年 1 月 26 日（金） 場所：井野辺病院

内 容：マニュアル作成に向けた意見交換と役割分担

実 績：平成 30 年 3 月 31 日 マニュアル完成



【研修講師等の実績】

1. 平成 28 年熊本地震 JRAT 活動検証・研修会

日 時：平成 29 年 8 月 5 日（土） 場所：熊本県立劇場

演 題：緊急報告 平成 29 年九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動報告

演 者：佐藤友美

2. 熊本県理学療法士会 福祉研修会

日 時：平成 29 年 11 月 26 日（日） 場所：熊本保健科学大学

演 題：平成 29 年九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動報告

演 者：佐藤友美

3. 第 3 回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）研修会

日 時：平成 30 年 1 月 20 日（土） 場所：千葉県教育会館

演 題：九州北部豪雨災害における大分 JRAT の活動
～平時の地域リハビリテーション活動と災害支援

演 者：會川裕子

4. 第7回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日 時：平成30年1月21日（日）

テーマ：災害と地域医療

シンポジスト：會川裕子

5. 九州作業療法士長会 リーダー研修会

日 時：平成30年2月11日 12日（日・月） 場所：医療福祉専門学校緑生館

テーマ：災害リハビリテーション支援活動の経験から～自分事として 今日から備えを！～

演 者：佐藤友美

6. 第45回大分救急医学会

日 時：平成30年3月10日（土） 場所：アルメイダ病院

内 容：南海トラフ地震を想定した災害ワークショップへの参加

出席者：佐藤友美 會川裕子

【平成30年度事業計画】

1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

- ・災害リハビリテーションに関する研修の実施（年1回）
- ・地域住民への災害リハセミナー開催（由布市：4回）
- ・広域支援センターでの災害リハ研修会の後方支援

2. 災害対応のための組織化

- ・災害リハ支援チームメンバー登録の推進
- ・大分県における防災訓練への参加協力等（大分 DMAT との連携）
- ・JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携（九州ブロック会議：平成30年度 担当県）
- ・県内関係団体との連絡調整

3. 直接支援活動

4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、平成30年6月現在での会員数は232名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

<平成29年度活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第21回研修会

日 時：平成29年7月16日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～総会

9：50～指定発言 社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院

リハビリテーション部 部長 森 淳一氏

10：30～症例報告・グループワーク

①JCHO湯布院病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 山本 周平氏

②社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部

言語聴覚士 谷脇 志織氏

12：30 終了

第11回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 6月23日（金） 開講式、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害患者の支援

2日目 7月5日（水） 摂食嚥下障害概説、摂食嚥下障害の支援

3日目 7月13日（木） 摂食嚥下障害の評価、経口摂取確立のための姿勢・摂食へのアシスト

4日目 7月27日（木） 摂食嚥下リハ（間接・直接訓練）、口腔について

5日目 8月9日（水） 調理実習、食べる喜びを支援する食事の介助

6日目 9月13日（水） 認知症・高次脳機能障害者への食事支援、摂食・嚥下リハビリテーションⅡ

7日目 9月28日（木） 事例検討・事例報告・受講経験者からの報告・終了式

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第22回研修会
 ～できていますか？栄養評価、大丈夫ですか？その姿勢～

日 時：平成30年3月18日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～講演①「現場で役立つポジショニング・シーティングの豆知識」

社会医療法人恵愛会 大分中村病院リハビリテーション部
 理学療法士 梅野裕昭氏、作業療法士 浅倉秀剛氏

11：00～講演②「栄養的視点からのチームアプローチ」

社会医療法人敬和会 大分豊寿園 管理栄養士 吉良明代氏

11：40～嚥下関連食品企業からのプレゼンテーション

12：30 終了



第11回摂食嚥下セミナーの様子



第22回研修会の様子

広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第34号 平成29年10月23日発行

特集：①サルコペニア

②第21回研修会の報告

お知らせ：ホームページのご案内

